

# マダコ（外房）



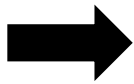
- ・ 漁獲の多くは外房で、たこつぼ、沖合底曳網などで漁獲される。
- ・ 地先に生息する群と、広く回遊する群が存在する。主漁期は12月～4月。生態には不明な点が多い。

## 資源評価

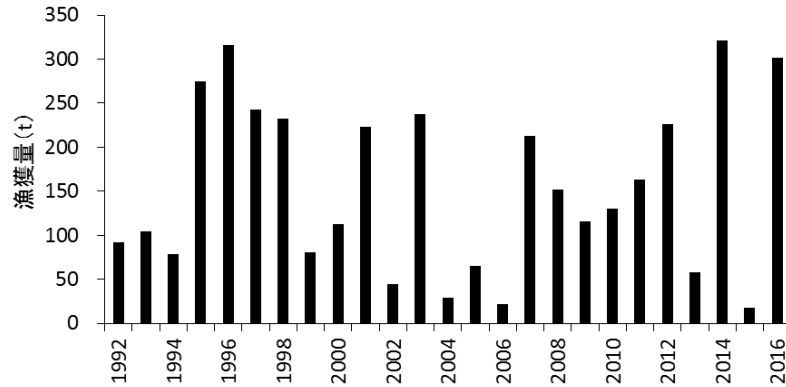
水準：高位



動向：横ばい



## 漁獲量



マダコ年別漁獲量の経年変化

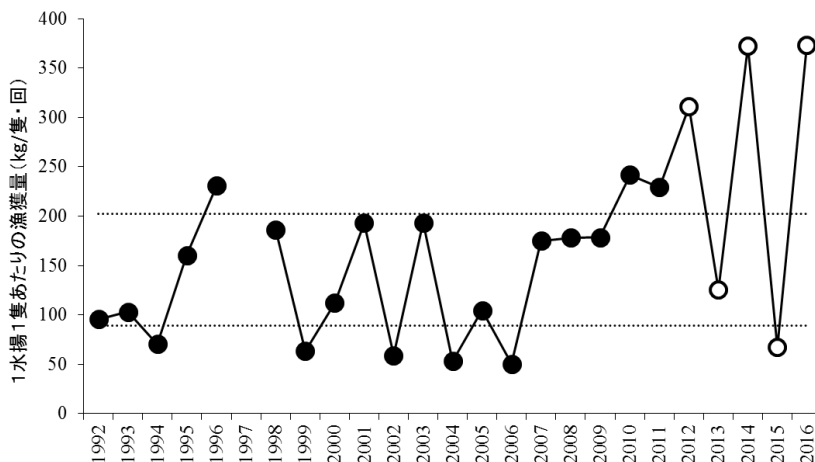
(千葉県調べ。年は漁期年：前年12月～11月)

- ・ 千葉県全体の漁獲量は年ごとに大きく変動している。
- ・ 漁獲量は資源量のほか、海況による回遊経路や時期の変動、茨城県以北の漁獲量等に影響を受けて変動すると考えられる。

注) 資源水準は、原則過去20年以上の評価指標値(CPUE)から4分位により評価した。  
資源動向は、最近5年間の評価指標の近似式から年間5%以上の増減の有無により判断した。

## 資源評価の判断

- ・ 資源水準及び動向は、外房A漁協における1992年以降の1航海1隻あたりの漁獲量(CPUE)で判断した。
- ・ CPUEも漁獲量と同様変動が激しいが、2016年の資源水準は高位、最近5年間の資源動向は横ばい。



外房A漁協の1水揚1隻あたり漁獲量。年は漁期年(前年12月～8月)

1997年は隻数データ不明のため欠測。

## 資源管理の取り組み

- ・ たこつぼ漁業の漁業許可方針で、海域ごとに操業隻数・期間が定められている。